

大名みえ子です

ご相談はお気軽にお寄せください

〒319-1112

東海村村松2401-2

oona_toukai@yahoo.co.jp

2009年 5月3日(日)

憲法フェスティバルに参加

10:00 開場

パネル展「茨城の15年戦争」

こども広場

フリーマーケット

模擬店

いまこそ生かそう 憲法



10:30 語り合いの広場

雇用とくらしなんでも相談

戦争体験を聴く

若者しゃべり場

9条の会交流会

12:30 音楽の広場

水戸工業高校 ブルーソニックジャズオーケストラ

百姓フォーク ヒュ マンファーマーズ

茨城のうたごえ合唱団

13:30 憲法と政治を語る

笹山尚人弁護士 講演「人が壊れていく職場」

戯作者松崎菊也トーク

青年トーク「憲法へのメッセージ」

アピール

みんなで歌おう



15:30 閉会

東海産廃反対住民の会で 署名のお願い

全体の参加者は1000名余。「住民の会」からは14名が参加しました。

会場内に「住民の会」ブースをもうけ、写真や地図で、建設予定地、訴訟原告団の居住地、どんな被害が予想されるかなど紹介しました。

「居住地からわずか4.2メートルのところに、産廃破碎・焼却施設ができることは、住民が安心して健康で文化的な暮らしをおくることへの大きな脅威であり、このような時本来、国は住民の権利を守らねばならないはず」との「住民の会」の主張に共感が寄せられました。

署名とカンパも訴え、さらに、運動資金にするためにと、前日手づくりで準備した春キャベツの浅漬け130袋も完売しました。



戦争体験を聴く広場では、3人が体験談を語られ、「住民の会」代表の菊池一二さんもその1人でした。戦争は国民が知らないうちに準備されることや、命が無惨に扱われるなど多くの実話に参加者は「戦争は絶対にダメ」「憲法9条の重要性」を痛切に感じました。

議会建設経済環境委員会で、5月12日に

茨城空港建設状況を視察

来年3月に開港予定の茨城空港は航空自衛隊百里基地との軍民共用で、国土交通省は年間81万人の利用者を予測していますが、国内線の就航は一本も決まっていません。また、地方空港の大半が赤字で、地元自治体には需要確保・拡大のために多額の支出が余儀なくされている事例から、「このまま突き進めば県民負担の増大が明らかです。さらに、新滑走路は130トンの中型機対応で、海外格安航空会社の大型機に対応していないこと、新滑走路に加え自衛隊滑走路のかさ上げ工事が行われ、戦闘機だけでなくC130輸送機や次期輸送機CXも離着陸可能になるなど、県民負担で滑走路2本体制にする基地強化は大変問題があると考えます。

本村も、空港建設促進協議会に入っていますが、日本共産党は建設は中止すべきと考えます。